



大阪府インテリア設計士協会

〒541-0059 大阪市中央区博労町1-6-14

TEL. 06-6262-1488 FAX. 06-6262-1553

URL <http://jp-interior.or.jp/ois>

blog <http://oisblog.exblog.jp>

E-mail [ois@jp-interior.or.jp](mailto:ois@jp-interior.or.jp)

編集スタッフ

田原・石渡・広畑・河原・仲田  
奥田・岡崎



## 気になるホテルハイアット!

新しいホテルではありませんが、先日ハイアット・リージェンシーオースカカに行きました。南港なのでなかなか行く機会がなく、初めてだったのですが、市内のホテル以上に高級感もあり、どのスペースも広大でゆとりのある、想像以上にいいホテルで驚きました。1994年6月に大林組の設計により建てられ、インテリアはOISの権先輩が手がけられ、その関係で、竣工当時に見学が開かれたそうです。

立地は大阪南港のコスモスクエアに位置し、インテックス大阪の東に隣接しています。当初はコスモスクエア地区やインテックス大阪のビジネス客をターゲットにしていたのですが、USJに近いので今はそちらの方がメインのようです。日本では最高級ホテルとして有名なリ



外観



B1 ロビー



B1 ザ・テラス



チャペル

ッツ・カールトンホテルオースカカには行ったことがあり、さすがに素晴らしいホテルだと実感したのですが、今回はそれに匹敵する印象を受けました。

屋外にあり、人気の高い永遠という名の緑と水に囲まれた独自の型チャペルは、2006年4月に建築家、青木淳氏の設計により誕生したそうです。テラスを挟んで、館内の「ザ・テラス」という、チャペルを眺めながらくつろげる空間もとても素敵で、インテリアにおいても上質な重厚感と、丁寧な気づかいを感じました。最近のホテルでは軽快なインテリアも多いように思いますが、久しぶりに格調高い雰囲気のある空間を味わえました。(記 広畑直子)

## ショップ紹介!

Uz-Uz



内装テーマは「古い学校」

宇川さんの作品

アーティストになれるかもしれない…。そんな勇氣をくれるショップが、大阪には点在しています。店内には作家さんの作品連が、にこにこ笑って皆様をお迎えます。そうして手にした作品は、未来の大作家さんの作品に化けるかも…。作家さんの作品達はそんな楽しさも与えてくれます。

今回は大阪市西区南堀江にあります「Uz-Uz」を紹介させていただきます。

オーナーである宇川さんは絵描きさんでもあります。店内には宇川さんの作品をはじめ、数々の作家さんの作品が並んでいます。アンティークの腕時計も扱っており、家具販売も計画中、懐かしくて温かい雰囲気です。そして、お店の内装のほとんどは、お仕事の仲間とやり遂げたそうです。これまた勇気のお話です。

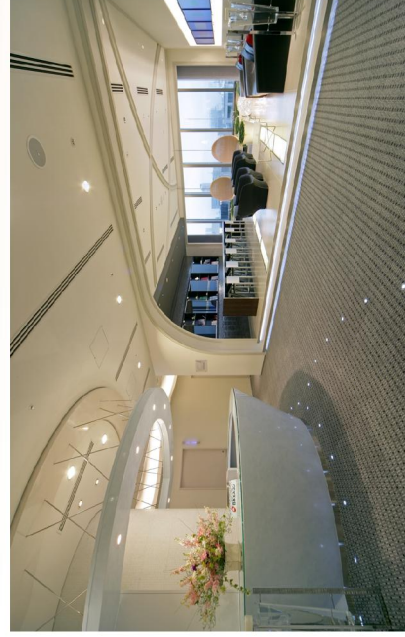
※詳しくはホームページへ！ 検索キーワード「Uz-Uz on the web」



(記 河原順子)

## インテリア設計レポート

株式会社日本エスコン大阪本社 インテリアプランニング



スイングドアが開くと、足元にはLEDの光が。背後にガラスモザイクを配した、優しい印象の受付カウンターでお客様をお迎えします。



回線をベースとしながらも、壁や天井には放物線を配置。ウォータースピーカーやハンギングチェアも備えた独創的なサロンです。



間接照明を採用し、黒と白を基調とした調度品で上質な透明感を演出。また1色のグラデーションのタイルの天井でオリジナリティある空間づくりの企業イメージを表現しました。



「いろいろな色の椅子がほしい」という言葉から生まれたプレゼンテーションルームは、照明の形をカラーバレット型に。

## インテリアは空気をデザインすること

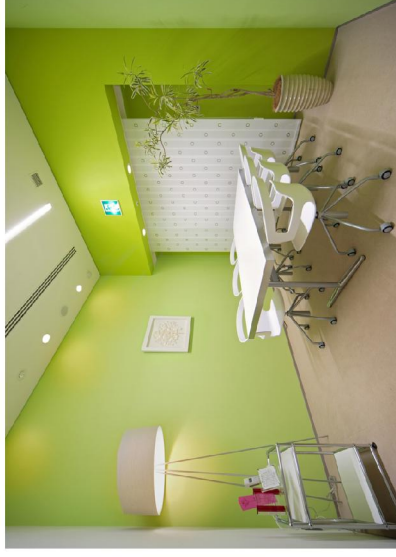
昨年、勤務先の株式会社日本エスコン大阪本社移転の際、企画を担当しました。移転先の明治安田生命大阪御堂筋ビルは、OISの見学会が株式会社竹中工務店・吉引氏の紹介で行なわれた縁のあるビルで、このような大きな仕事を任せられインテリア設計士として嬉しく思っています。

企画に際し、日本エスコンの“オリジナリティへのこだわり”を表す空間を創りたいと思いました。コンセプトは、ロームで見た美しいデザインホテルからインスパイアされた“Mixed Touch”。驚きと楽しさにあふれた上質な空間に辻 邦浩氏デザインによるウォータースピーカーを設置、壁面を絵画のように彩るオリジナル映像に合わせた心地よい音楽を流し、空間の質を高めることで表現しています。

(記 大内洋子)



絵画のようなフレームの奥に屋上緑化が見え、光と風が通り抜けるこのビルのコンセプトと、日本エスコンのオリジナリティのある空間創造の原点を、「Origin」と名付けたこの部屋で表現しています。



ロマンチックな部屋があってもいい・・・壁の3面をグリーンに、そのうち正面の1面をバーチカルブラインドでタペストリーにし、優しい雰囲気を出しました。



工業デザイナーの草分け、金子徳次郎先生の大坂事務所  
で所長・大槻一夫先生（大阪芸大教授）の下、川村自転車  
とタイガー魔法瓶を嘱託制で担当。亀万工業（流し台のメ  
ーカ）の嘱託。大阪デザイナー学院・立体デザイナーコー  
スのカリキュラム編成に参画、が独立後の仕事で、退職後  
3か月目に月収が5倍以上！ 若気の至りもあってよく飲  
んで遊んだ。

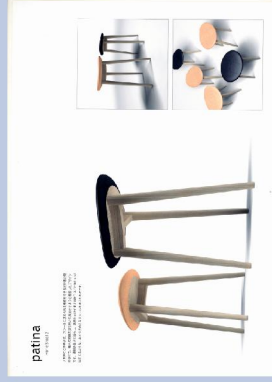
さらに、雑貨デザインで佳作、日本自転車デザインコン  
ペでは第一回から第四回まで賞金も稼いだ。SSS~OISのシ  
ンボルマークは故大高猛先生（浪速短大教授）の作品であ  
るが同短大の恩師で、生前にはマツ子のデザイン展も開催  
されたが、当時は「独立して飯は食えない」と言われた同  
時期に小生もマツ子のデザイン、チラシやカタログ、メリ  
ヤス肌着の微細図案、岐阜県の高治見で陶器の和洋上絵付  
けと、スタッフの給料を稼ぐためにデザインジャンルの拡  
大していった。家具では心斎橋大丸の総張り応接セットの  
デザインや飲食店の椅子テーブル、時には奈良県下の天理  
教支部教会から、特別サイズの椅子（次期真柱の玉座）を  
デザイン・実物一品納入との注文もあり、同級生のお父さ  
んが木地屋であったので相談すると、資料写真を見せた  
来てしまったことある。塗師屋〜張り屋に回り、早々と実物が  
学院は入学案内のデザイナーを依頼された関西産業能率  
大学デザイン科の学科創設に関わることになり、併設して関

西産業デザイナー研究所を開設。スポンサーであった石切剣  
箭神社の木積官長先生の依頼で神社のシンボルマーク・ロ  
ゴと石切霊園の土木開発から会館デザイン、ロゴ・マーク  
までのトータルデザイナーは小生の初期の代表作である。現  
在でも小生手作りの霊園石膏模型が会館に展示されている。  
後に関西デザインに名称変更してからは、商業施設（当時  
は店舗設計・陳列屋と呼ばれた）に住宅設計、特に店舗つ  
き住宅を多く手掛け、喫茶店、スナック、キャバレー、ナ  
イトクラブと規模も拡大し、日本装子チェーンとの関わり  
も古く関西本部事務局長代行に始まるが、現在もロゴ・マ  
ークは肉筆のまま健在である。

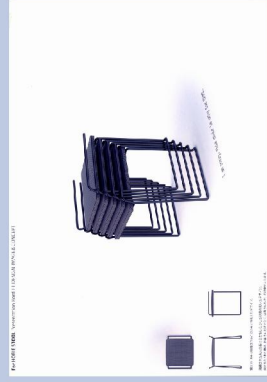
形而工房：1928~39年、藤田周忠を中心に斉藤四郎、伊  
藤機次郎、小林登、高橋実、手塚敬三、豊口克平、中島賢  
次、松本正雄ら我が国の最初のデザイナー研究団体であり近  
代デザインに果たした役割は大きい（清家清著：インテリ  
アデザイン辞典より引用）とあるが、斉藤とは旧姓で、SSS  
第3代会長の石川四郎こそ歴史的な登場人物であり、退任  
の記念に頂いた携帯用の電気シェーバーは今も重宝してい  
る。又、金子先生宅では奥様が歯医者で「インテリアをや  
っているなら豊口克平に逢ってみるか」と言われ、内線  
電話で奥様に確認され「残念だが今帰ったそうだ、しよっ  
ちゅう見えるから何時でも逢わしてやるよ」と心遣い頂い  
た懐かしい思い出も、あの世のことになってしまった。  
(おわり)



金賞「club」



銀賞「patina」



銅賞「For HORIE STOOL」

## 堀江の街に似合う素敵なスツール

### 「堀江スツール2」誌上展

堀江の街や公園、ショップ、カフェなどにあ  
ったら良いと思われる素敵なスツールの募集に  
400点を超える応募があり、その中から入選10  
作品が決まったので紹介します。

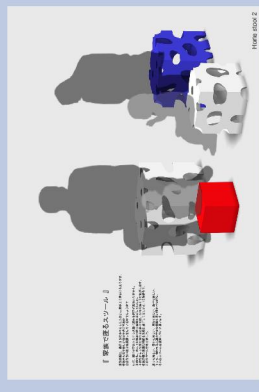
- 金賞：「club」／南 和宏(滋賀県)
- 銀賞：「tre」／今井勝英(愛知県)
- 〃：「patina」／南 政宏(滋賀県)
- 銅賞：「家族で座るスツール」／伊東 智(神奈川県)
- 〃：「For HORIE STOOL」／浅野宏幸(大阪府)
- 〃：「button stool」／久郷晴哉(滋賀県)
- 入選：「Shell Stool」／大平裕之(東京都)
- 〃：「PLANT」／加田 悟(兵庫県)
- 〃：「HEXAGON」／川嶋優也(岡山県)
- 〃：「Co\_edu stool」  
／ra/la design(神奈川県)

主催：堀江ユニオン/立花通商店街

詳しくは⇒<http://kagu.ne.jp/compe/>



銀賞「tre」



銅賞「家族で座るスツール」

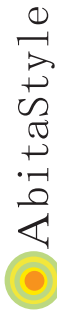


銅賞「button stool」

## 賛助会員紹介

株式会社 遠藤照明

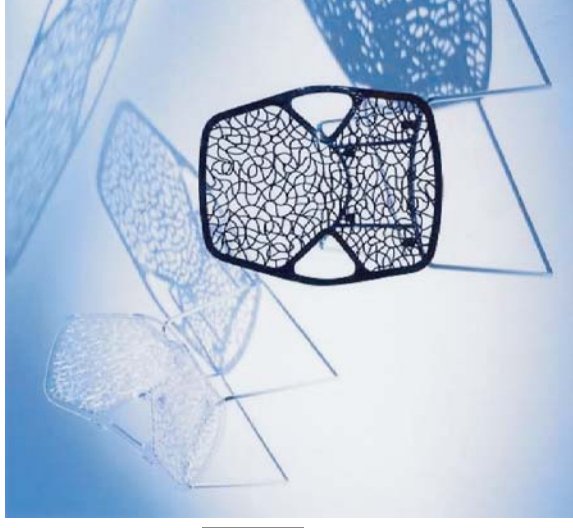
〒541-0053 大阪市中央区本町11-6-19  
TEL.06-6267-7035 FAX.06-6267-7036  
URL.http://www.endo-lighting.co.jp



interior

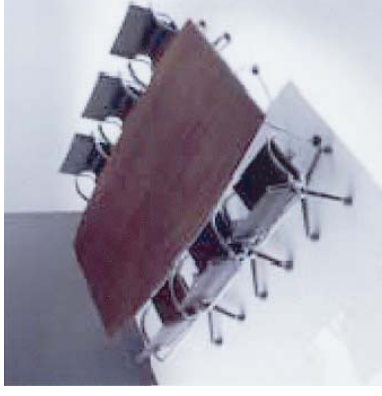
照明とのコラボレーションで、空間価値をより高めるインテリア家具を提案します。

ENDOインテリア家具事業のコンセプトは、照明とのシナジー効果で空間に最上級の価値を付加することです。  
一流建築家、インテリアデザイナーに満足してもらえ、機能的で美しい家具に揃え、適正価格と信頼される品質にこだわっています。  
ガラスや樹脂などの素材をメインに用いたモダンファニチャー、洗練のフォルムにスピリットが感じられるデザイナーズ家具。  
これまでの日本にはなかった新しいインテリア家具の提供を通じて、より付加価値の高い空間創造に貢献しています。



事業内容

- 各種照明器具の企画・デザイン・設計及び販売
- システム収納家具の販売
- インテリア家具・用品の販売



## コンパニ の 目コク

### 平成20年度総会（詳細は同封の案内をご参照下さい。）

★開催日：平成20年4月25日（金）

★場 所：OCAT

総 会：18:30～19:30／4階 市立難波市民学習センター・アートスペース  
交流会：20:00～21:30／5階 “スーパードライ”

### 手づくり講座・天然木ツキ板（突き板）サンブル帖作成会

（同封の案内、E-MAIL、またはFAXで全員にお知らせいたしますので詳細はご参照ください。）

★日 時：平成20年5月20日（火） 18:30～21:00

★場 所：コラムデザインセンター（大阪市中央区南船場1-5-11 コラムビル）

★費 用：2,000円

★定 員：15人

## 編集後記 一年を振り返り・・・

編集メンバー新で早や1年、ドタバタわいわいやりながら、なんとか4号目の発行を迎えました。協会の会報誌として楽しい紙面を作るために毎号頭をひねってききました。協会行事の多い時期と少ない時期があり同じパターンにならず、またネタ集めもままならず、毎回ハラハラ・・・でも皆、お仕事の忙しい中、編集会議の出席率は花丸で、いつも和やかで楽しくやっています。メンバーの皆さん、ご苦勞様でした。また記事のご協力をいただいた方々やご寄稿いただいた方々も有難うございました。葉知利書をより良くするために、皆さまから要望やアイデアを気軽にいただけたら嬉しいですし、また記事寄稿や情報提供でどんどん参加していただきたいと思います。（田原妙子）



編集スタッフメンバー／左から、広畑、仲田、河原、奥田、石渡、田原（岡崎写す）

もらってください

照明士学会の『照明研究』の冊子が数冊あります。少し高度なしレポートですが、参考になります。希望者は事務局までご連絡ください。